



三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2019. 6. 10

No.2315 No.37

Rotary



会長挨拶

三条南ロータリークラブ 会長
田代 徳太郎
Tokutaro Tashiro

ロータリーに
参加して
楽しもう

皆さん、コンニチワ。37 回目の例会です。

きょうは野菜についてのお話です。きゅうりは野菜だけれど、同じウリ科のメロンは、皆さん、果物だと思いますよね。もやしは野菜なのか？ 大豆から芽が出たので、穀物が野菜に変わったのか？とか。私はメロンやもやしを食べるとき、つい考えてしまいますが、疑問はいつもそのままになっています。

少し前、法人会の雑誌をめくっていたら、「野菜の定義とは」と題して医療ジャーナリストの記事が載っていました。それには、野菜とは何か、と問われてきちんと答えられる人は専門家ですら皆無に近いと書かれていました。

何を野菜にするかは国によっても異なり、欧米の多くで米はベジタブル（野菜）とされているそうです。なるほど、それなら日本食は尚更ヘルシーに思われてしまいます。

米を穀物とする日本では、野菜とは「主に副産物として田畑で栽培される草本植物。そして加工していないもの（加工=乾物・塩漬）」と伝承されてきて、農水省も基本的には、これを踏襲しているそうです。

農水省はどこを食べるかで分類し、根っこを食べる大根、ニンジン「根菜類」、葉や茎を食べるホウレンソウ、キャベツなどは「葉茎菜類（ようけいさいるい）」、実の部分を食べるナス、トマトは「果菜類」などに振り分けています。

イチゴ、メロン、スイカは「果実の野菜」と分類され、これらは苗を植えて1年で収穫できるので野菜とされていました。しかし生産者側も食べる消費者も野菜と思う人はいないだろうと述べています。果物とは樹木になるものに限られていました。

イモ類も論争のタネだそうです。農水省は根菜類に入っていますが、多くの自治体はサツマイモやジャガイモを穀物とするかイモ類として振り分けているそうです。

複雑なのは、豆類の大豆です。成長して間もない枝豆は野菜とされ、乾燥・保存させると穀物になり、そして穀物の大豆が発芽仕手できるモヤシは野菜とされるそうです。

皆さん理解いただけましたか。専門家でもきちんと答えられないそうですから安心してください。会長挨拶を終わります。

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから—

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるかどうか

Rotary



国際ロータリー会長 バリー・ラシン [バハマ]
第2560地区ガバナー 川瀬 康裕 [三条]
第4分区ガバナー補佐 久住 勲夫 [分水]
会 長 田代 徳太郎
幹 事 永桶 俊一
S A A 石山 昌宏



インスピレーションに
なるう

事務局
〒955-8666 三条市旭町2-5-10
三条信用金庫本店 内
TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp
U R L http://www.sanjo-minami.jp

出席者

48 名中 35 名

先々週の出席率

86.67% (5/27)

先週のメークアップ

6/5 三条RC

野崎正明君

田中康之君

広岡豊樹君

6/7 吉田RC

内藤豊大君

6/8 巻 RC30 周年記念式典

田代徳太郎君

永桶俊一君

石山昌宏君

木村 譲君

加藤一芳君



幹事報告

永桶 俊一 幹事

◆新井RCより「創立 60 周年記念式典」ご案内

日時 2019 年 10 月 5 日 (土) 13:30 式典開始

場所 デュオ・セレッソ (上越市)



ニコニコボックス

田代君 6 月 8 日 (土) 巻 RC の 30 周年記念行事に行ってきました。第 4 分区のクラブだけが参加でした。シンプルでした。

永桶君 気圧の関係か気温のせいか体調がいまいとつです。梅雨入りもしました。皆様お気をつけてください。

西巻君 本年度も最後の月になりました。

西潟君 6 月は各団体の総会が多く多忙であります。またゴルフも忙しくなってきました。

6 月 10 日 ￥11,000
今年度累計 ￥559,000



坪井君 BOX 担当の銅冶先生に協力します。

坂本君、佐藤君、船久保君、
野崎君、渡邊(久)君
BOX に協力します。

銅冶君 BOX に御協力ありがとうございました。



クラブフォーラム



2019-2020 年度 事業計画および収支予算

荒澤 威彦 2019-20 年度 会長

まず、クラブ細則の変更について。先週週報に掲載の通り、本年度は事務局員交代経費分の会費をアップしましたが、次年度は元へ戻すための変更をいたしますのでご承認ください。

先週に引き続き、次年度の委員長に、順次、事業計画を発表していただき、最後に幹事より収支予算を説明いたします。

会員増強委員会 船久保孝志委員長、(副)池田亜津子、草野恒輔、
坂井範夫、野水孝男

- 1 委員会の目的——現会員の退会防止と会員増強で活力あるクラブの繁栄を目指す。
- 2 事業項目——
 - ① 全会員の情報と協力により増員を図る
 - ② 若い世代の人たち (女性も含めて) の入会を推し進める
- 3 予 算—— 5,000 円



親睦・プログラム委員会 木村譲委員長、(副)石山昌宏、(副)塩入栄助、齋藤嘉一、広岡豊樹、永桶俊一、加藤峰孝、田中康之、布施純也、金井佐也子、加藤一芳、梨木美裕樹、杉井 旬



- 1 委員会の目的——
会員同士の親睦を図れるように楽しめて参加したくなる例会、親睦会等を設営する。
- 2 事業項目—— ※ 配布資料「例会・行事計画表」をご確認ください
- ① 通常例会の設営（受付、ビジター紹介、会員や配偶者誕生祝、結婚記念等の贈呈など）
- ② 親睦例会等の設営（公式訪問、納涼例会、忘年家族会、新年会、会長幹事慰労会）
- ③ 卓話、プログラム担当
- ④ クラブ休会の設定（12月23日、1月6日、3月30日）
- 3 予 算——2,036,000 円

青少年奉仕委員会 木村譲委員長、(副)太田義人、加藤一芳

- 1 委員会の目的——ライラ研修を通して、次世代を担う若い人々のリーダーシップを育成し、善良な市民としての資質の向上を図るとともに、ロータリアンとの親睦を通じてロータリー活動への理解を深めてもらうことを目的とする。
- 2 事業項目——R I 第2560地区 ライラ研修セミナーへの参加
- 3 予 算——80,000 円

国際奉仕・青少年交換委員会 佐々木常行委員長、(副)野崎正明、坂本洋司、阿部隆樹、長谷美津明



- 1 委員会の目的——国際ロータリーの会員として、国際親善・国際理解を推進し、世界平和への意識を高める。また、国際ロータリーおよびロータリー財団の情報をもとに、青少年の海外留学の援助や留学生の受け入れなど国際親善と友好に努める。
- 2 事業項目——
- ① ロータリー財団、米山記念奨学の各委員会と連携し、クラブ会員の国際親善や国際理解の機会を設ける
- ② 青少年交換学友（ローテックス）活動の支援と普及に協力する
- ③ 今年は一年交換学生、夏期交換学生の派遣受入の予定がないため次回に向けて準備をする
- 3 予 算——5,000 円

奉仕プロジェクト及び公共イメージ【奉仕活動・広報部門】 星野健司副会長



- 1 委員会の目的——奉仕活動はロータリークラブの理念であり原点である。職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕及びロータリー財団、米山奨学の各委員会と密接な連携を取りながら、各活動を通してロータリークラブの公共イメージの向上を図る。
- 2 事業項目——
- ① 各奉仕委員会の事業が計画通り円滑に運営されるよう支援する
- ② R 財団、米山奨学の各委員会の 2560 地区寄付目標が達成されるよう協力する
- ③ 必要に応じて、他の団体とともに奉仕活動を行う
- 3 予 算——100,000 円

職業奉仕委員会 渡辺和宏委員長、(副)内藤豊大、渡辺俊明

- 1 委員会の目的——＜職業奉仕の理念の理解を深める＞
自らが儲けるためだけに職業に就いているという考えを捨てて、顧客の満足度を最優先しながら、自らの職業を通じて他人に奉仕をするという考えで事業を営めば、その結果大きな利潤が得られるとともに、その事業所は継続的に発展していく。そのような事業者は、結果として高い職業倫理を持つことになる。したがって職業奉仕の理念は、単に職業倫理を高揚することではなく、「職業奉仕の実践が、結果として高い職業倫理に繋がる事」である。そのためにはロータリアン一人一人が、「四つのテスト」と「ロータリアンの行動規範」を指針にして行動し、職業倫理基準を高め、地域社会に貢献することが大切である。



- 2 事業項目——
- ① 職場例会として「職業奉仕月間」に、市内の事業所を訪問し、卓話をさせていただく。
- ② 年度を通し、クラブ例会において、月 1 回のロータリーソング「四つのテスト」を唱和する。
- ③ 第一例会における「ロータリーの目的」を唱和する。
- 3 予 算——20,000 円

社会奉仕委員会 吉沢栄一委員長、(副)丸山智、馬場信彦、熊倉高志、名古屋豊、田中康之、布施純也

- 1 委員会の目的——ラマーク・ダニエル・マローニーRI 会長のテーマ『ロータリーは世界をつなぐ』そして、大谷地区ガバナーのテーマ『楽しいロータリーでつながろう』、また、当クラブ荒澤会長のテーマ『地元を知り、地元への奉仕でロータリー活動を示そう』を念頭に地域と密着した事業を行い、地域のために役立



つ奉仕活動を行う。

2 事業項目——

- ① 市内各団体が参加する「五十嵐川河川敷の清掃」に参加する
- ② 地区が行う社会奉仕活動への協力
- 3 予算——10,000 円

ロータリー財団委員会 永井篤利委員長、(副)永桶俊一、坪井正康

1 委員会の目的——ロータリー財団に対する寄付及び財団プログラムへの参加の意義を理解し、財団を支援するための計画を立案し実施する。

2 事業項目——

- ① 会員に財団事業について理解と協力を求める
- ② 年次目標(基金 1 人 150 ドル以上、ポリオプラス 1 人 30 ドル以上)が達成できるようにお願いする
- ③ ガバナー公式訪問、ロータリー財団月間、新会員入会時等に、財団ボックスへの寄付をお願いする

3 予算——5,000 円

米山記念奨学委員会 平松修之委員長、(副)齋藤嘉一、佐藤秀夫

1 委員会の目的——将来、日本と世界とを結ぶ『架け橋』となって国際社会で活躍し、ロータリー活動の良き理解者となる人材を育成するという目的のもと、『米山記念奨学会』への理解を求める。

また、『米山記念奨学会』への寄付行為及び留学生の受入れ等、具体的な支援内容について会員の理解と協力を求める。

2 事業項目——

- ① 会員に米山記念奨学事業についての理解と協力を求める ガバナー公式訪問時、ガバナー補佐訪問時、新会員入会時、米山月間等の機会に米山奨学ボックスへの協力をお願いする。また、公益財団法人としての『米山記念奨学会』の税制上の優遇措置のPRを行う
- ② 2019～2020 年度の寄付目標額 一人 20,000 円を達成するための呼びかけを行う
- ③ 『米山月間』に米山奨学生あるいは学友からの卓話をお願いする

3 予算——5,000 円

2019-20 年度収支予算について ※ 配布資料「例会・行事計画表」をご確認ください



長谷川 直哉 次年度幹事

本年度は事務局員交代、三条 RC からのガバナー輩出関連等の支出が増大し、会員数も 50 人を割り込むなど、収支は厳しい状態でした。次年度は、地区内 RC の周年の当たり年とでもいうべきか、行事が多く予定されて支出増加が見込まれます。健全なクラブ財政のため、運営の効率化、コストのカットダウンを進めしつつ会員増強にも力を入れて参ります。御協力お願い申し上げます。

次週の予定

6月24日(月) 親睦例会 会長幹事慰労会 18:30～ 於: 松木屋

次月の予定

7月 1 日(月) 通常例会 クラブフォーラム 第一例会

7月 8 日(月) 通常例会 卓話: 熊倉 高志 会員

7月 15 日(月) 休会(海の日)

7月 22 日(月) 通常例会 卓話: 吉沢 栄一 会員

7月 29 日(月) 大谷光夫ガバナー公式訪問/クラブ協議会

12:30～14:40 於: 三条ロイヤルホテル